

平成 25 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス				
教科目名	歴史	担当教員	中村 史信(非常勤)	
学年学科	1年 全学科	通年	必修	2単位
学習・教育目標	(A-1)100%			
<b>授業の目標と期待される効果：</b>  1年生の歴史は世界史的分野の内容を学習する。授業では、とくに15世紀以降の近・現代史に焦点を合わせて考察を進める。いわゆる各国史の総合ではなく、さまざまな結びつきからなる世界史像をめざす。くわえて、日本や日本人と世界とのつながりも意識する。 具体的な目標は以下の通り。 ①世界史的知識を広げる。 ②歴史的内容を論理的に考察し、説明する力を養う。 ③異文化や多様な価値観への理解・関心を深める。 ④「現在」に対する複眼的な見方を養う	<b>成績評価の方法：</b>  以下の総得点500点に占める得点率で最終評価を行なう。 前期：中間試験100点+期末試験100点+課題提出50点 後期：中間試験100点+期末試験100点+課題提出50点			
	<b>達成度評価の基準：</b>  以下の各要素についての達成度を成績評価の基準とする。 ①世界史についての正しい知識を習得したか。 ②歴史的内容を論理的に考察し、説明する力がついたか。 ③異文化や多様な価値観への理解・関心が深まったか。 ④「現在」に対する複眼的な見方がついたか			
<b>授業の進め方と留意事項：</b>  授業は、教科書・図説（資料集）を使用した講義形式で行なう。質問票の提出を適時求め、授業にフィードバックする。「世界とは何か？」「歴史とは何か？」「世界・歴史をどのような視点から眺めるのか？」このような問いを自らに投げかけ、「過去」との対話を通じて、自分の視野を時間的・空間的に広げてほしい。受講者の興味・関心を喚起するような書籍や映像資料をできるだけ紹介したい。				
<b>教科書および参考書：</b>  『詳説世界史』（山川出版社）を教科書とし、『最新世界史図表タペストリー』（帝国書院）を副教材として使用する。その他、必要に応じてプリント等を配布する。				
<b>授業の概要と予定：前期</b>				
第 1 回：イントロダクション				
第 2 回：大航海時代				
第 3 回：ルネサンス				
第 4 回：宗教改革				
第 5 回：ヨーロッパ主権国家の形成				
第 6 回：危機の時代の主権国家				
第 7 回：イギリス革命				
第 8 回： 中間試験				
第 9 回：ビデオ教材による学習				
第10回：世界貿易と植民地				
第11回：産業革命				
第12回：アメリカ独立革命				
第13回：フランス革命				
第14回：ナポレオンの時代				
第15回：ブルジョワ支配の成立				
期末試験				
第16回：フォローアップ（期末試験の解答の解説など）				

授業の概要と予定：後期	
第17回：19世紀後半のヨーロッパ	
第18回：アメリカ合衆国の発展	
第19回：「西洋の衝撃」とアジア諸地域	
第20回：「西洋の衝撃」と東アジア	
第21回：帝国主義の時代	
第22回：「世界分割」と列強の対立	
第23回：アジア諸国の改革と民族運動	
第24回：	中間試験
第25回：ビデオ教材による学習	
第26回：第一次世界大戦	
第27回：社会主義革命とヴェルサイユ体制	
第28回：大戦後のヨーロッパとアメリカ	
第29回：戦間期のアジア	
第30回：世界恐慌とファシズムの台頭	
第31回：第二次世界大戦	
	期末試験
第32回：フォローアップ（期末試験解答解説など）	